

令和元年度 高額レセプト上位の概要

健保連では、高額な医療費の発生が個々の健康保険組合財政に及ぼす影響を全組合拠出の財源により緩和するため、健康保険法附則第2条に基づき、『高額医療交付金交付事業』を実施している。

令和元年度（平成31年1月16日から令和2年1月15日）に申請された医療費のうち、1ヵ月の医療費が1,000万円以上の件数は、前年度より123件増加（対前年度比16.9%増）の851件で過去最多となり、初めて800件を超えた。

そのうち、2,000万円以上の件数は、対前年度比1件増（1%増）の83件、5,000万円以上の件数は、平成30年度は2件だったのに対し、令和元年度は0件だった。

○上位100件*を疾患別にみると、循環器系疾患が44件で最多となり、血液疾患20件、先天性疾患0件、悪性腫瘍0件、その他36件だった。

○上位100件*の疾患別件数を前年度と比較すると、循環器系疾患は4件減（8%減）、血液疾患は6件増（43%増）、先天性疾患は1件減（100%減）、悪性腫瘍は増減なし、その他は1件減（3%減）となった。

*平成28年度分から、月額医療費、主傷病名、疾患別の傾向等詳細なとりまとめについては上位100件までとした。

連絡先：健康保険組合連合会
組合サポート部
交付金交付事業グループ
(高額医療担当)
TEL 03-3403-0557

注:主傷病名欄の()は調剤レセプト

図表1 1,000万円以上高額レセプト上位100位 (令和元年度)

(単位:円)

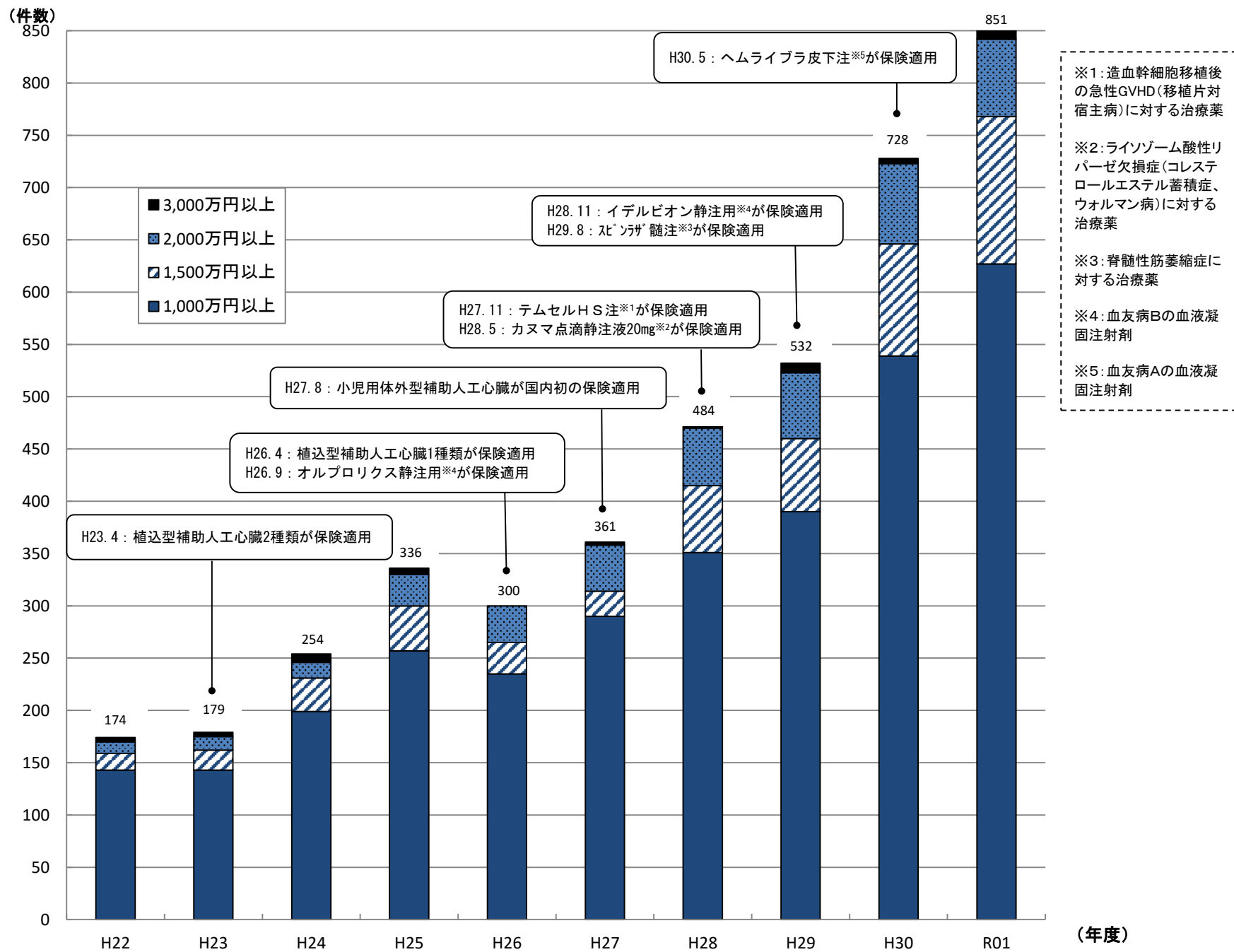
順位	月額医療費	主傷病名	順位	月額医療費	主傷病名	順位	月額医療費	主傷病名	順位	月額医療費	主傷病名
1	40,377,520	血友病A	26	26,400,290	低ホスファターゼ症	51	24,490,880	特発性拡張型心筋症	76	21,180,150	(高フェニルアラニン血症)
2	37,478,670	血友病B	27	26,390,100	低ホスファターゼ症	52	24,352,930	虚血性心筋症	77	21,139,840	拡張相肥大型心筋症
3	34,510,900	コレステロールエステル蓄積症	28	26,379,060	低ホスファターゼ症	53	24,339,650	虚血性心筋症	78	20,847,100	僧帽弁閉鎖不全症
4	33,144,320	劇症型心筋炎	29	26,263,790	特発性拡張型心筋症	54	24,279,700	BH4反応性高フェニルアラニン血症	79	20,391,070	(血友病B)
5	33,120,770	BH4反応性高フェニルアラニン血症	30	26,250,920	劇症型心筋炎	55	23,756,180	ポンプポケット感染	80	20,391,030	(血友病B)
6	33,093,560	(高フェニルアラニン血症)	31	26,028,070	特発性拡張型心筋症	56	23,613,950	特発性拡張型心筋症	80	20,391,030	(血友病B)
7	30,915,200	血友病B	32	25,988,380	特発性拡張型心筋症	57	23,593,020	特発性拡張型心筋症	82	20,360,130	全身熱傷
8	30,628,730	特発性拡張型心筋症	33	25,916,690	特発性拡張型心筋症	58	23,537,110	特発性拡張型心筋症	83	20,195,450	脊髄性筋萎縮症
9	30,139,310	慢性うっ血性心不全	34	25,803,230	特発性拡張型心筋症	59	23,187,720	(高フェニルアラニン血症)	84	19,937,470	特発性拡張型心筋症
10	29,737,550	(血友病A)	35	25,738,680	特発性拡張型心筋症	60	23,012,650	コレステロールエステル蓄積症	85	19,908,750	(高フェニルアラニン血症)
11	29,464,270	特発性拡張型心筋症	36	25,425,470	特発性拡張型心筋症	60	23,012,650	コレステロールエステル蓄積症	86	19,883,850	(高フェニルアラニン血症)
12	29,247,730	(血友病A)	37	25,370,530	特発性拡張型心筋症	62	23,012,280	拡張相肥大型心筋症	87	19,883,280	BH4反応性高フェニルアラニン血症
13	29,123,000	(高フェニルアラニン血症)	38	25,177,860	ポンプポケット感染	63	22,990,030	急性大動脈解離StanfordA	88	19,878,590	BH4反応性高フェニルアラニン血症
14	29,121,560	虚血性心筋症	39	24,925,740	特発性拡張型心筋症	64	22,886,600	虚血性心筋症	88	19,878,590	BH4反応性高フェニルアラニン血症
15	28,156,980	急性心筋梗塞	40	24,846,980	BH4反応性高フェニルアラニン血症	65	22,808,960	特発性拡張型心筋症	88	19,878,590	BH4反応性高フェニルアラニン血症
16	27,913,740	特発性拡張型心筋症	41	24,792,470	血友病B	66	22,785,980	ドライブライン感染	88	19,878,590	BH4反応性高フェニルアラニン血症
17	27,608,050	劇症型心筋症	42	24,774,930	特発性拡張型心筋症	67	22,433,370	(血友病B)	92	19,868,690	BH4反応性高フェニルアラニン血症
18	27,452,360	特発性拡張型心筋症	43	24,754,040	血友病B	68	22,392,430	ポンプポケット感染	93	19,856,960	(高フェニルアラニン血症)
19	26,725,220	特発性拡張型心筋症	44	24,751,920	血友病B	69	22,146,170	特発性拡張型心筋症	94	19,856,540	(高フェニルアラニン血症)
20	26,612,820	特発性拡張型心筋症	45	24,742,540	血友病B	70	22,109,560	BH4反応性高フェニルアラニン血症	95	19,856,440	(高フェニルアラニン血症)
21	26,502,470	BH4反応性高フェニルアラニン血症	46	24,672,630	特発性拡張型心筋症	71	22,093,100	特発性拡張型心筋症	96	19,710,590	(血友病B)
22	26,478,740	(高フェニルアラニン血症)	47	24,648,100	特発性拡張型心筋症	72	22,074,890	BH4反応性高フェニルアラニン血症	97	19,348,660	血友病B
23	26,475,230	(高フェニルアラニン血症)	48	24,622,090	虚血性心筋症	73	21,825,410	血友病A	98	19,342,230	血友病B
24	26,410,970	低ホスファターゼ症	49	24,580,710	虚血性心筋症	74	21,711,560	拡張相肥大型心筋症	99	19,300,300	血友病A
25	26,400,840	低ホスファターゼ症	50	24,492,470	特発性拡張型心筋症	75	21,415,290	血友病A	100	19,295,390	血友病A

図表2 1,000万円以上高額レセプトの件数と最高金額等

年度	件数	最高金額	主傷病名
平成 12 年	98 件	19,514,290 円	拡張型心筋症
〃 13 年	106 件	22,561,810 円	急性膵壊死
〃 14 年	81 件	40,073,310 円	血友病A
〃 15 年	101 件	29,859,940 円	大動脈解離
〃 16 年	89 件	23,893,270 円	血友病A
〃 17 年	115 件	34,953,330 円	血友病A
〃 18 年	116 件	23,567,750 円	骨肉腫
〃 19 年	140 件	37,629,030 円	血友病
〃 20 年	134 件	28,416,300 円	血友病B
〃 21 年	155 件	38,280,620 円	血友病B

年度	件数	最高金額	主傷病名
平成 22 年	174 件	46,392,680 円	血友病B
〃 23 年	179 件	115,504,940 円	血友病A
〃 24 年	254 件	84,811,650 円	血友病A
〃 25 年	336 件	62,212,360 円	血友病A
〃 26 年	300 件	29,917,200 円	肥大型心筋症
〃 27 年	361 件	42,530,080 円	血友病A
〃 28 年	484 件	106,941,690 円	フォンウィルブランド病
〃 29 年	532 件	79,157,950 円	血友病A
〃 30 年	728 件	90,581,510 円	血友病A
令和 元 年	851 件	40,377,520 円	血友病A

図表3 過去10年の1,000万円以上高額レセプトの件数の年次推移

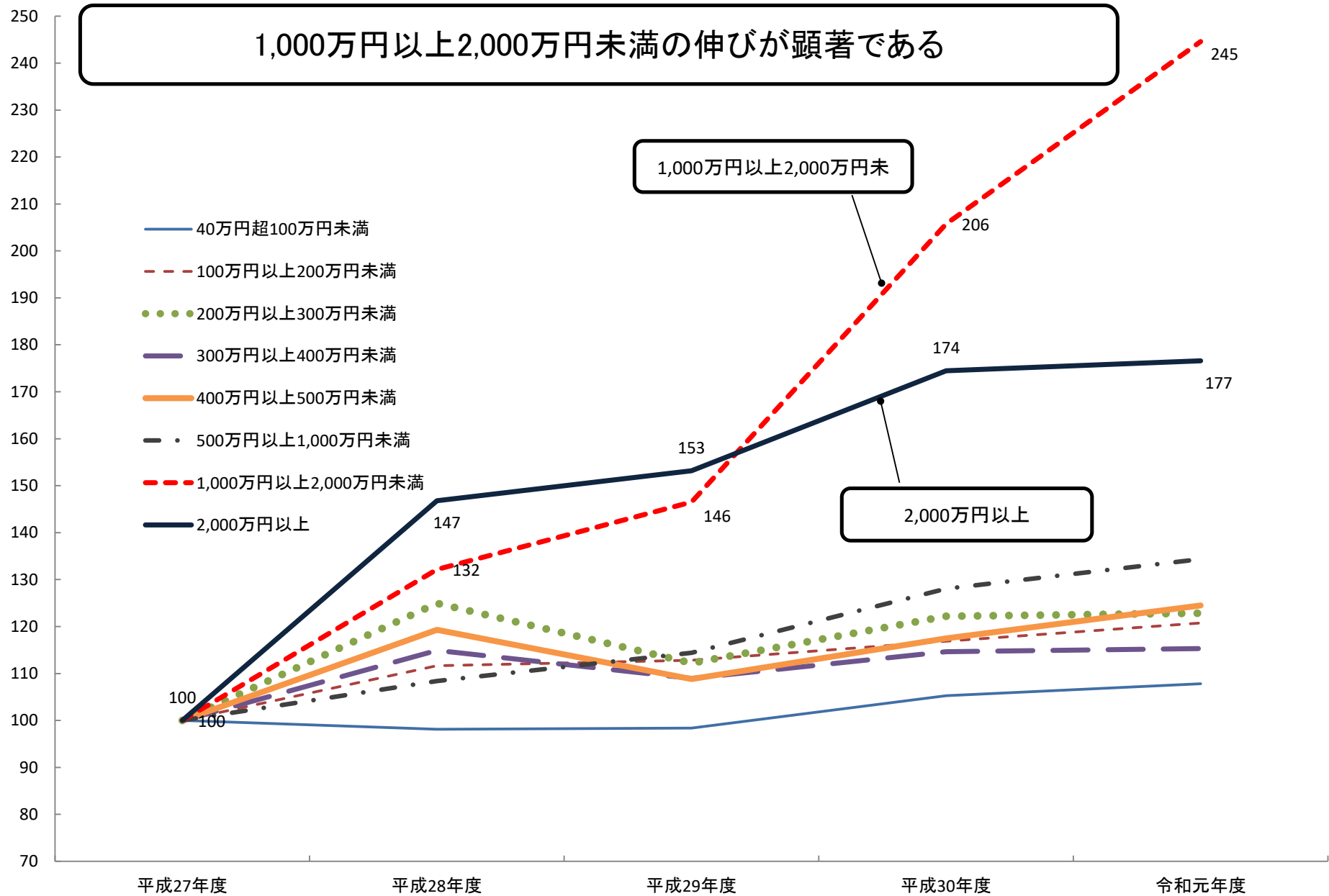


図表4 高額医療交付金交付事業における金額階級別交付件数の推移

金額階級		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
40万円超 100万円未満	件数	91,800	90,081	90,325	96,636	98,978
	指数	100	98	98	105	108
	対前年度比		-1.87%	0.27%	6.99%	2.42%
	構成割合	31.9%	28.6%	29.1%	29.4%	29.4%
100万円以上 200万円未満	件数	130,412	145,614	147,152	152,438	157,481
	指数	100	112	113	117	121
	対前年度比		11.66%	1.06%	3.59%	3.31%
	構成割合	45.3%	46.2%	47.4%	46.4%	46.7%
200万円以上 300万円未満	件数	40,320	50,381	45,238	49,271	49,522
	指数	100	125	112	122	123
	対前年度比		24.95%	-10.21%	8.92%	0.51%
	構成割合	14.0%	16.0%	14.6%	15.0%	14.7%
300万円以上 400万円未満	件数	13,664	15,705	14,886	15,665	15,756
	指数	100	115	109	115	115
	対前年度比		14.94%	-5.21%	5.23%	0.58%
	構成割合	4.7%	5.0%	4.8%	4.8%	4.7%
400万円以上 500万円未満	件数	5,941	7,087	6,464	6,979	7,396
	指数	100	119	109	117	124
	対前年度比		19.29%	-8.79%	7.97%	5.98%
	構成割合	2.1%	2.2%	2.1%	2.1%	2.2%
500万円以上 1,000万円未満	件数	5,335	5,784	6,104	6,832	7,168
	指数	100	108	114	128	134
	対前年度比		8.42%	5.53%	11.93%	4.92%
	構成割合	1.9%	1.8%	2.0%	2.1%	2.1%
1,000万円以上 2,000万円未満	件数	314	415	460	646	768
	指数	100	132	146	206	245
	対前年度比		32.17%	10.84%	40.43%	18.89%
	構成割合	0.11%	0.13%	0.15%	0.20%	0.23%
2,000万円以上	件数	47	69	72	82	83
	指数	100	147	153	174	177
	対前年度比		46.81%	4.35%	13.89%	1.22%
	構成割合	0.016%	0.022%	0.023%	0.025%	0.025%
合計	件数	287,833	315,136	310,701	328,549	337,152
	指数	100	109	108	114	117
	対前年度比		9.49%	-1.41%	5.74%	2.62%

(注) 指数は、平成27年度を100とした伸び率である。

図表5 金額階級別交付件数の推移



(注)平成27年度を「100」とした伸び率の推移である。

高額医療交付金の交付の仕組み

1. 高額医療交付金の交付基準

- レセプト1件あたりの決定金額が下記の交付基準額を超える場合に交付対象とし、財源との見合いにより、①+②となる交付対象額に、交付率を乗じて交付決定額とする。
- ただし、400万円超部分には交付率を乗じず、100%交付とする。

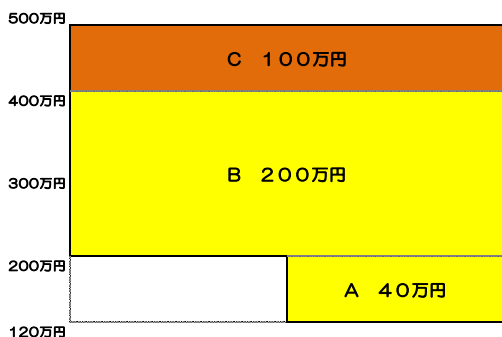
対象額 ①+② $\left\{ \begin{array}{l} \text{①} = \text{交付基準額を超えて200万円以下の部分は2分の1 (図A部分)} \\ \text{②} = \text{200万円超の部分は1分の1 (図B・C部分)} \end{array} \right.$

1) 一般疾病の場合 (交付基準額120万円超)

- ① 120万円超200万円以下の部分 (A) = 2分の1
- ② 200万円超の部分 (B+C) = 1分の1

例) 500万円のレセプトの場合

交付対象額 (①+②) = 40万円 + 300万円 = 340万円



400万円以下部分 (A+B) = 240万円 ← 交付率乗じる
400万円超部分 (C) = 100万円 ← 交付率を乗じない

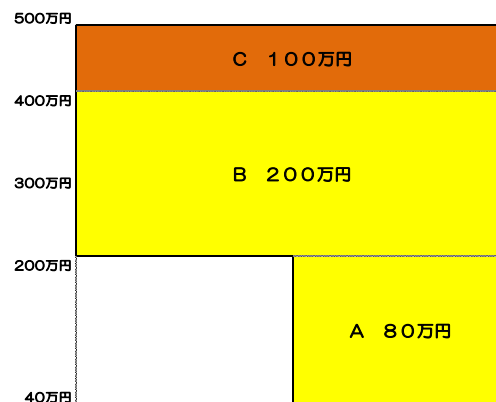
交付決定額 = 240万円 × 交付率 + 100万円

2) 特定疾病の場合 (交付基準額40万円超)

- ① 40万円超200万円以下の部分 (A) = 2分の1
- ② 200万円超の部分 (B+C) = 1分の1

例) 500万円のレセプトの場合

交付対象額 (①+②) = 80万円 + 300万円 = 380万円



400万円以下部分 (A+B) = 280万円 ← 交付率乗じる
400万円超部分 (C) = 100万円 ← 交付率を乗じない

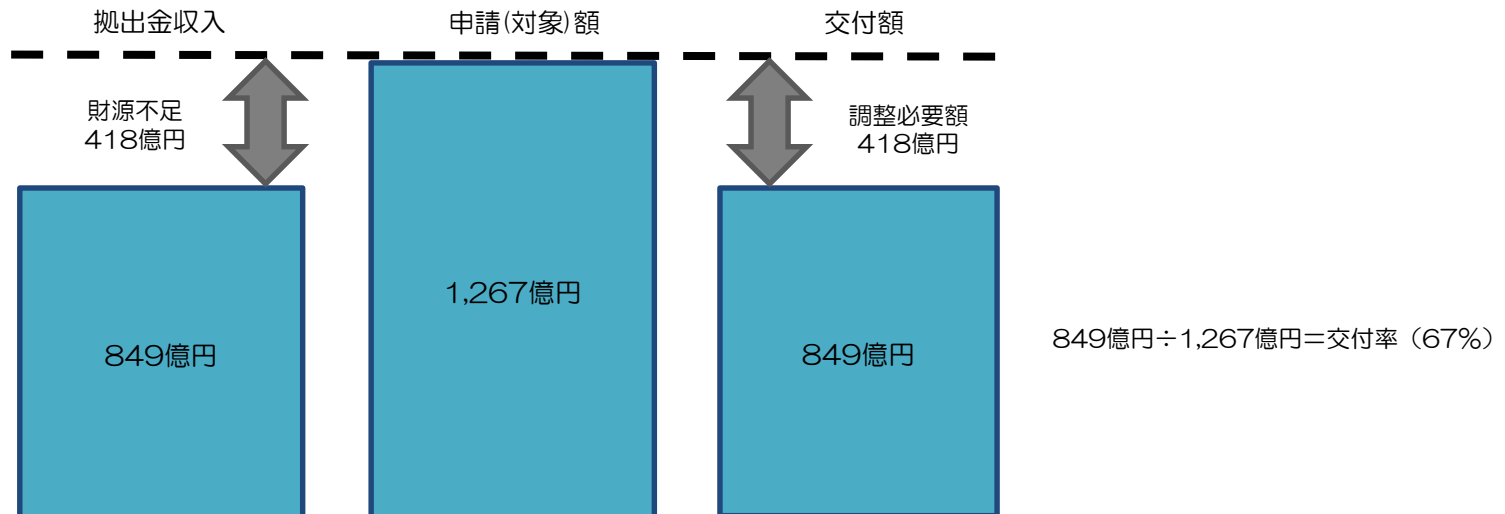
交付決定額 = 280万円 × 交付率 + 100万円

※特定疾病：人工腎臓実施慢性腎不全、血漿分画製剤投与の先天性血液凝固第Ⅷ因子障害又は先天性血液凝固第Ⅸ因子障害、抗ウイルス剤投与の後天性免疫不全症候群（HIV感染を含み厚生労働大臣の定める者）

2. 高額医療交付金の交付率

- 高額医療交付金は、財源である財政調整事業拠出金収入の範囲内で交付決定を行う。
- 下記イメージのように、財源を超える申請があった場合、財源不足分を調整するための交付率を算出する。
- なお、400万円超部分の交付率は、100%としている。

【図】 高額医療交付金の交付率の考え方（イメージ）



『高額医療交付金交付事業』の概要

1. 事業の目的

『高額医療交付金交付事業』は健康保険法附則第2条に規定する法定事業（交付金交付事業）で、高額な医療費が発生した健康保険組合への財政的な影響を緩和するために行っている。

2. 財源

各健康保険組合が被保険者から徴収した調整保険料は健保連へ拋出され、交付金交付事業（『高額医療交付金交付事業』、及び『組合財政支援交付金交付事業』）の財源となる。交付金交付事業の事業規模は千分の1.3と定められ（厚生労働大臣告示）、このうち千分の1.0相当額を『高額医療交付金交付事業』の財源として、残りの千分の0.3相当額を『組合財政支援交付金交付事業』の財源に充てている。ただし、28年度から、千分の1.1相当額を『高額医療交付金交付事業』の財源として、残りの千分の0.2相当額を『組合財政支援交付金交付事業』の財源とした。なお、令和元年度の『高額医療交付金交付事業』の財源は約1,016億円（単年度収入）である。

3. 令和元年度の交付対象

平成31年1月16日から令和2年1月15日までの間に申請されたレセプト1件の月額医療費のうち、交付基準額（一般疾病は120万円、特定疾病（※）は40万円）を超えた部分を交付対象とする（そのうち令和元年度事業分は平成30年11月から令和元年10月診療分のレセプト）。

なお、令和元年度の交付申請組合数は1,375組合、交付対象件数は337,152件、交付対象総額は約1,652億円（令和元年度の交付率は60%、交付額は約1,110億円）。

※ 特定疾病とは、長期にわたって高額な医療費を要するとして厚生労働大臣が指定した次の疾病である。

- 1.人工腎臓を実施している慢性腎不全
- 2.血友病（血漿分画製剤を投与している先天性血液凝固第Ⅷ因子障害または先天性血液凝固第Ⅸ因子障害）
- 3.抗ウイルス剤を投与している後天性免疫不全症候群（HIV感染を含み、厚生労働大臣の定める者に係るものに限る）